



立命館大学 白川静記念
東洋文字文化研究所

第8回福島漢字探検隊(全国通算第 142 回)



鶴ヶ城で漢字と出会う



身の回りのものと漢字との結びつきをさぐる体験型漢字講座「漢字探検隊®」、全国でも人気の講座が、いよいよ会津地方にやってきます。今回は鶴ヶ城を巡りながら、建物や都市からできた漢字の成り立ちや漢字どうしの結びつきを学びます。鶴ヶ城ガイドと漢字教育士®によるガイドで鶴ヶ城の新しい見方を加えることができます。子供も大人も一緒になって、「鶴ヶ城と漢字」を楽しく学びましょう。

- ◇日時 **9月21日(月・祝)**
 午前の部 10時～12時
 午後の部 14時～16時

- ◇場所 **会津若松市文化センター(集合・解散)**
 鶴ヶ城(天守閣内には入りません)

- ◇参加料 **無料**

- ◇定員 **各回60名(事前申込制・先着順)**

- ◇申込 **「鶴ヶ城」と明記し、以下の事項を記載の上、**

ファクス・Eメールでお申し込みください。

- ① 参加の回(午前・午後)、②氏名、③児童・生徒・学生の場合は、学校・学年、
 ④ 連絡先(電話・ファクス・Eメールアドレス(パソコンのもの))

- ◇お問い合わせ・参加申込 **学校法人立命館 社会連携部社会連携課(担当久保・若林)**

TEL:075-813-8209 FAX:075-813-8167 / e-mail:toyomoji@st.ritsume.ac.jp

- ◇主催 **立命館大学白川静記念 東洋文字文化研究所**

- ◇協力 **会津若松市、一般財団法人会津若松観光ビューロー、国立大学法人福島大学**

- ◇後援 **鶴ヶ城天守閣再建50周年記念事業実行委員会、福島県教育委員会、会津若松市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、エフエム会津**

この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成活動によるものです。「漢字探検隊」「漢字教育士」は、立命館大学の登録商標です。



シルバーウィークの福島県は、漢字でいっぱい

9月19日(土)
・20日(日)

第7回福島漢字探検隊

—漢字あそび大会イン喜多方

「漢字のまち・喜多方」では、漢字をテーマにしたゲームやパズル、クイズ大会・ビンゴ大会、講演会や「古代文字ミステリーウォーク」を開催します。

時 間 19日 12時～17時 20日 10時～16時

講演「喜多方を漢字のまちにする」

高橋政巳氏(楽篆工房主宰) 19日 15時

講演「お酒にまつわる漢字と漢詩」

澁澤 尚氏(福島大学教授) 20日 11時半

場 所 喜多方市蔵の里・押切川公園体育館

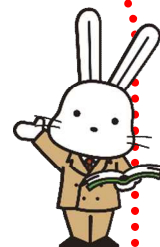
参加費 無料(自由入退場)

※古代文字ミステリーウォークは有料
(1000円・ラーメン券付きは1500円)

「蔵の里」と「喜多方駅観光案内所」で受付



9月22日(火・休)
・23日(水・祝)



第9回福島漢字探検隊

—漢字あそび大会イン福島

福島でも漢字で遊んで学ぼう。

時 間 9/22 12時～17時

9/23 10時～16時

※入退場自由

場 所 福島市こむこむ館

参加費 無料(自由入退場)

白川静(しろかわしずか)ってだれ?

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。およそ50年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。



大人の方へ

白川静博士(1910-2006)は、東洋研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。